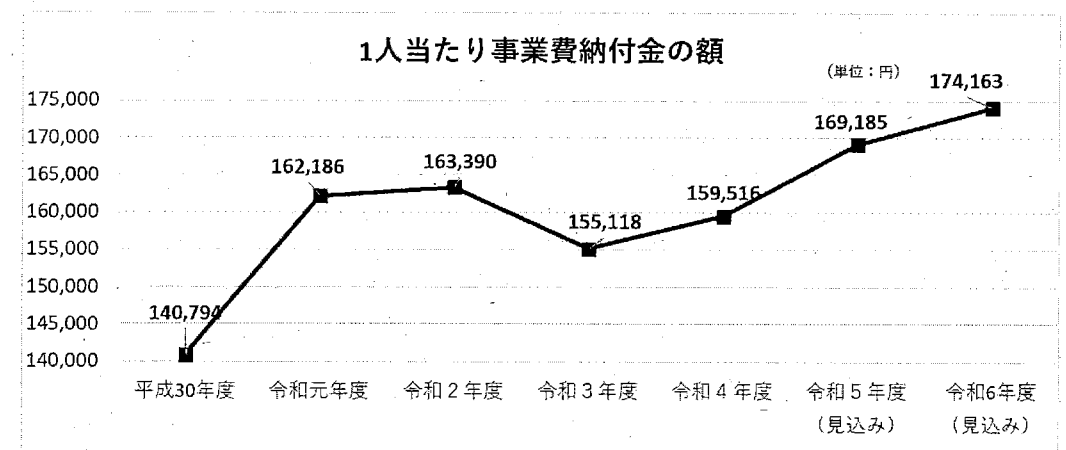


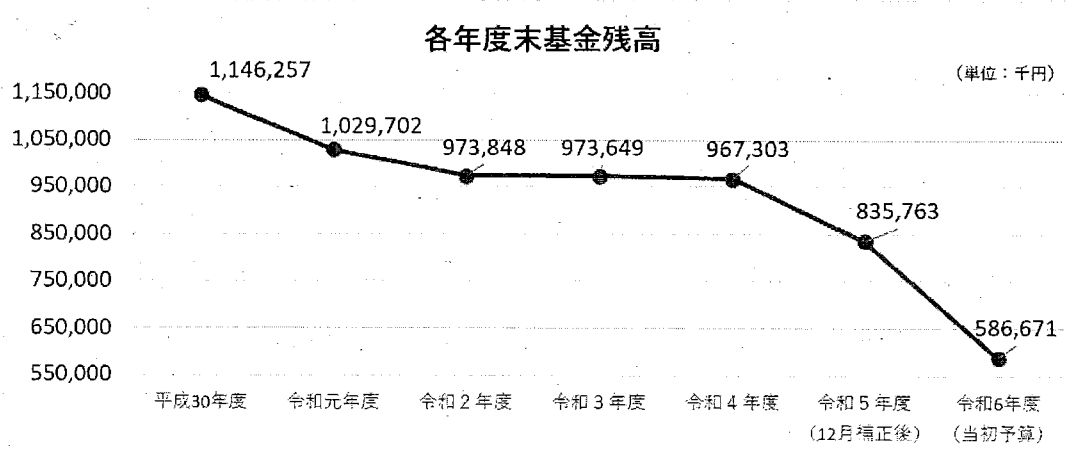
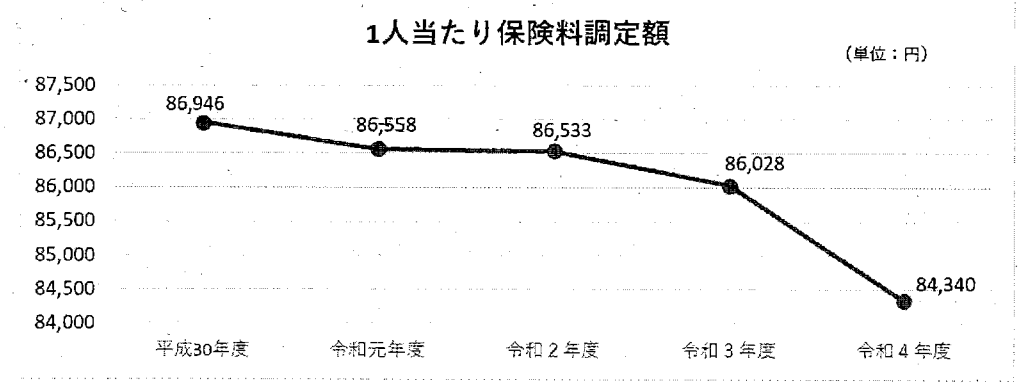
令和6年度保険料について

国民健康保険料は、平成30年度に大幅な引下げを行った後、新型コロナウイルスの影響に鑑み、令和3年度に一旦引下げを行いました。不足する部分は、基金の活用により、料率の抑制に努めてきました。しかしながら、保険給付費の増高等により、1人当たり事業費納付金の額が増加しており、財政状況は厳しさを増しています。

また、令和5年度（12月補正後）の基金残高は、約8億4,000万円となっており、安定的な国民健康保険の運営を維持するためには、保険料率の見直しは避けられない状況となっています。



※事業費納付金：保険給付費等交付金の交付に要する費用を賄うため、都道府県が市町村から徴収するもの



令和6年度は、保険料率を見直し、**保険料収入として約4,500万円の増及び基盤安定繰入金約1,700万円の増**を見込み、料率を改定します

【令和6年度 保険料率の考え方】

医療分は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、市民生活が戻りつつあることから、引き下げ前の**令和2年度と同率**とします。また、県が示す標準保険料率と比較し、低い水準にある**支援分と介護分の料率についても見直し**します。

なお、令和6年度の料率は、令和6年5月下旬を目途に前年の所得情報等を踏まえ、改めて決定する予定です。

(単位：%、円)

	区分	所得割	均等割	平等割
平成29年度	医療分	9.50%	24,900	23,100
	支援分	3.00%	7,800	7,200
	介護分	3.00%	8,400	5,400
平成30年度	医療分	8.50%	24,000	21,900
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200
令和元年度	医療分	8.50%	24,000	21,900
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200
令和2年度	医療分	8.50%	24,000	21,900
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200
令和3年度	医療分	8.30%	23,400	21,000
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200
令和4年度	医療分	8.30%	23,400	21,000
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200
令和5年度	医療分	8.30%	23,400	21,000
	支援分	2.50%	6,900	6,300
	介護分	2.00%	6,300	4,200

※着色箇所は、前年度から料率の引き下げを実施

【令和6年度予算算定時保険料率】

医療分	8.50%	24,000	21,900
支援分	2.80%	7,800	7,200
介護分	2.40%	7,500	5,400

※令和6年度の料率は、令和6年5月下旬を目途に、令和5年所得を勘案し決定。